

## 令和3年度 組織・連携委員会だより

北海道PTA連合会

令和3年11月4日（木）発行

## 第2回 組織・連携委員会

◇令和3年10月16日に第2回組織・連携委員会が開催されました。主な内容をお知らせします。

1. 後藤委員長 挨拶
  - ・コロナ禍で先生方と関わる機会も少ない状況が続いていますが、先生方への声掛けやサポーターとしてのPTAの役割は大切だと考えます。少ない機会だとは思いますが、出来る範囲でのサポートをお願いします。
2. 協議事項 ※各地区理事より下記の2点について
  - (1) 持続可能なPTA組織や活動の活性化へ向けた取組・改善策について
  - (2) コロナ禍の中でのPTA活動の推進について

伊藤理事

西興部村では小規模校・複式校の統廃合に伴い、PTAを一本化できないか議論をスタートさせた。拡大PTAを開催し今後も話し合いを継続していく。

佐藤理事

オホーツク東部地区P連では、昨年コロナ禍でも全ての行事を実施した。今年も地区P連の事業は全て実施している。子どもがかかわる行事も全て実施した。各校においても、参観日は時間を決めて参観する。別室でオンライン参観をするなど工夫している。やれない理由、やらない理由をハッキリさせて、PTA活動を止めることは、子どもの学びを止めることと、先生方にも理解し協力してもらえた。ブラスバンドも全道大会へ参加した。参加児童は3日間、自宅でのオンライン学習など、安全対策を万全に取り組んでいる。

「網走小の事例」

オンライン環境については、市教委と連携し、学校側とPTAが両輪で進めている。タブレットはフル活用、毎日持ち帰り家庭学習などにも活用している。

一方、網走小は出来るのに、何で他校は出来ないのかという話も出ている。

※網走小の取組をR5年の提言発表として、お願いしてはどうか。(鈴木教師代表)

学校も知恵をしぼり、保護者も知恵をしぼると相乗効果となる。例えば、母親の読み聞かせがコロナ禍で出来ない時、知恵をしぼり、影絵をオンラインで行った。他にも、各地から問い合わせがくる状況が生まれている。

安藤理事

現在、単Pの活動はほぼない状況で活動がストップしています。ただ、どうしたら出来るか対策を考えているところです。市P連の体験活動も延期して実施するなど、状況を踏まえ取り組んでいます。ヤマメ放流釣り体験も実施しました。母親研修会は状況を踏まえ延期し、例年より規模を縮小して行います。ブロック連絡会もオンラインで実施します。

廣瀬理事

学校行事は全て否定的、関係者以外は学校に入れない雰囲気です。子どものサポート、お手伝い出来るのがPTA、不要不急にされては困ります。

ただ、今年はタブレットケースを全員分、タブレット用のペンを購入、また、冬には外で出来る事を計画しています。登下校時の安全確保として、見守り依頼も行っています。

また、市P連では研修会を実施しています。代表者研修会を年1回、3ブロックに分けて話し合いブロック毎に発表し交流を深めています。今はオンラインで3校に分かれて実施しています。出席率は100%です。

3. 研究の方向性
  - (1) 持続可能な子育て支援体制におけるPTA組織の在り方や活動の活性化へ向けた取組・改善策を引き続き探る。
  - (2) コロナ禍におけるPTA活動の推進について探る。
  - (3) 令和5年度の提言を視野に入れた研究の方向性を探る。
4. 第3回組織・連携委員会での意見交流及び協議事項について
  - (1) 令和3年度研究のまとめ・次年度の方向性について
  - (2) 地区研交流「令和3年度 地区研究大会報告書」を基に交流
  - (3) その他